

■7月の自立支援協議会報告

療育支援部会 6日(木)

- ・児童の相談窓口を困りごと別に整理した。今後、資料化を検討していく。

地域生活支援部会 ショートステイWG 11日(火)

- ・タイムケア事業所と日中一時支援についての状況確認

権利擁護部会 21日(火)

- ・障がい者の権利を守る支援者の役割を再度確認し、日頃感じている「権利」について意見交換を行った。

地域生活支援部会 グループホームWG 21日(火)

- ・世話人連絡会－各事業所の近況報告と事例検討、情報交換。

■ボランティアを募集しています！

現在、花田養護学校高等部3年生、電動車いすサッカーが好きな17歳の男子。

「僕の良いところは、人の役に立ちたいという夢を決してあきらめないこと。僕の夢は障がい者やお年寄りが不自由なく暮らせるような、便利な福祉機器を作ることです。そのために諏訪東京理科大学に進学します。通学するためにはボランティアのみなさんのお力がどうしても必要です。よろしくお願いします」

時間帯・場所：主に諏訪東京理科大学での休み時間

8:30～14:30 くらいの間で時間や頻度は応相談です

依頼内容：トイレ介助、食事や教科書など必要なもののセッティング、昇降機の操作 等
(性別は問いません。障がい者の介助をしたことがない方も大歓迎です。)

問合せ：花田養護学校 0266-28-3033 (宮坂先生)

*お願いできそうなボランティアさん(団体・個人)をご存知の方もご連絡ください。

■新「サービス等利用計画」書き方ハンドブック 貸し出しいたします



2017年7月25日発行の日本相談支援専門員協会編集の相談支援専門員のためのハンドブックです。

全国の相談支援専門員の声からまとめられた事例集となっており、“アセスメントが難しい場合”“大目標を立てにくい場合”など、具体的な作成方法を学ぶことができます。

支援の着眼点から各欄の記載方法まで、とてもわかりやすいので、相談支援専門員の方は、この機会にぜひセルフチェックをしてみてください。また、事業所のサービス管理責任者の方が、個別支援計画を作る際にも参考になると思います。ご覧になりたい方はオアシス(54-7713)にご連絡ください。

■身体障がい者を対象とする職員採用選考があります

長野県職員・長野県市町村立小中学校事務職員

受付期間：インターネット 7月24日～8月14日

郵送 7月24日～8月8日（当日消印有効）

持参 8月9日～8月14日

*詳細は長野県のホームページで確認できます。オアシスにも受験案内の書類がありますので、お問合わせください。

■研修会・研究会・イベント情報

（詳しい内容は、各団体またはオアシスまで）

♣ 寺子屋 in サマー

《みんなのお家すまいる》の夏休み、のぞきにきてみませんか？

日時：7月27日～8月9日までの平日 10：00～17：00

場所：みんなのお家すまいる（諏訪市中洲）（10：00～14：00は要申込み）

参加費：子ども無料 おとな300円（飲み物付き）小学生以下は保護者同伴です。

～みんなのお家すまいるのでできること～

・いろいろゲーム（ウノ・トランプなど）・手芸・いろいろな本を読む・のんびりする… など

問合せ：不登校支援 親の会 090-9357-5167（渡辺さん）

繋 inc.（つなげるいんく） 090-1865-7933（木村さん）

♣ SAKURA 岡谷センター オープンDAY

期間中は、予約なしで気軽にカリキュラムの見学・体験ができます。また事前予約でオプションメニューの『仕事習慣力診断（LQS）』の体験をしていただくこともできます。

開催日：9月4日（月）～15日（金）

時間：13：00～14：30

問合せ SAKURA 岡谷センター 0266-21-1380（岡田さん）

♣ おたまじゃくしの会 ～ ゆっくり ゆったり 楽しもう ～

自分自身の障がいについて学び、仲間とともに暮らしやすい地域づくりを目指します。

【8月定例会】 WRAP 勉強会

8月27日（日） 13：30～

場所：いきいき元気館 3階 会議室

問合せ：オアシスへ電話（54-7713）かメール（info@suwa-oasis.jp）で

♣ 出張スポーツ・運動教室（Ⅱ期）～サンスポート駒ヶ根～

「健康の維持・管理」「効果的な運動方法」「みんなで楽しめるレクリエーション」などご要望・ご相談に応じ、日ごろのスポーツ活動や運動のお手伝いをします。

実施期間（Ⅱ期）平成29年9月～12月末まで

日時：平日 【月・木】 10：00～12：00

（祝日を除く） 【火・金】 10：00～17：00

*毎月第2火曜日は休館日のため実施できません。

費用：無料

申込期間：～8月10日

問合せ：障がい者スポーツ支援センター駒ケ根

「サンスポート駒ケ根」 0265-82-2901（吉田さん、石村さん）

♣ しろくまネットワーク学習会

9月24日（日） 13：30～16：50

場所：長野県立こども病院 北棟2階会議室

基調講演 『愛知県における電子連絡帳・支援手帳の拡がりと今後の展望』

愛知県医師会理事 愛知県在宅支援診療所連絡会会長 野田正治 先生

報告会 学習会 等

申込み：あり（*当日参加も可能）

問い合わせ：長野県立子ども病院 療育支援部・地域連携係 0263-73-6700（牧内さん）

♣ せいしれん2017年夏期研修会

8月26日（土） 9：30（受付） ～ 15：30

場所：庄内地区公民館 大会議室（松本市出川1-5-9）

講演会 『魅力ある職場づくりについて』

社会福祉法人 佛子園（石川県） 常務理事 村岡 裕 氏

とことんトーク・・・どうすれば魅力ある職場になるか・・・

申込み：8/18まで（アンケートあり）

問い合わせ オアシス（

♣ 発達障がい児者における医療と教育と福祉の合同研修会

8月27日（日） 10：00～15：00

地域の発達障がい児者に携わる方が、地域の中核となり、医療と教育と福祉を繋ぐ役目を意識できるようになるための研修会です。

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

参加対象：医療保健／教育／福祉関係職員で、発達障がい児者に関心がある方

シンポジウム 『自分を知り相手を知る～連携を進める上で知っておきたい他領域のこと、自領域のこと～』

司会 原田 謙先生（長野県立こころの医療センター駒ケ根 副院長）

シンポジスト 稲葉 雄二先生（長野県立こども病院 院長補佐 神経小児科部長）

岸田 隆先生（長野圏域発達障がいサポートマネージャー）

馬場 博雄先生（北信教育事務所 特別支援教育推進員）

事例検討 「高機能自閉症児の小学校から中学校への移行の支援について」

スーパーバイズ 本田 秀夫先生（信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長）

参加費：200円（資料代）

申込み：8/18まで（150人）

問合せ：長野県健康福祉部保健・疾病対策課 こころの健康支援係 026-235-7109

♣ 平成 29 年度薬物依存問題研修会

薬物依存問題に関わる支援者や、依存問題を抱える当事者とその家族が、薬物依存症の治療への理解を深め、回復の方法を学ぶことを目的として開催します。

9月20日(水) 13:00~16:00

場所：長野県社会福祉総合センター3階 研修室(長野市若里7-1-7)

対象：(定員100名)薬物依存問題の関係機関、薬物依存問題を抱える当事者とその家族等

内容：講演『ハームリダクションについて』

神奈川県立精神医療センター専門医療部長 小林 桜児 氏

活動報告・体験発表 オハナ会、長野ダルク 他

申し込み：9月8日(金)まで

問合わせ：長野県精神保健福祉センター 026-227-1810

♣ テレワークで働き方を変えよう、その現状と課題

平成29年度長野県障がい者ITサポートセンター運営事業において、新たな働き方としてのテレワークの普及促進と、障がい者のテレワークによる就労について周知を図ることを目的としたセミナーです。

8月31日(木) 13:00~16:30

場所：長野市生涯学習センター TOiGO 4階大学習室1

申し込み：70名先着順

問合せ：長野県障がい者ITサポートセンター 0263-88-2903

■お知らせ

♣ 8月のパン販売予定 (諏訪市総合福祉センター1階 就労継続支援A型事業所『BAITEN』)

こころ屋 : 7日(月)、28日(月)

ましばん : 1日(火)、8日(火)、22日(火)、29日(火)

パンDEチーノ : 2日(水)、9日(水)、23日(水)、30日(水)

いちやまマート : 3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)、31日(木)

はっぴーおじさん : 4日(金)、18日(金)、25日(金)

※ 8日(火)は、真心の唐揚げおにぎりセットの販売があります。ご利用下さい!

■リレーずいそう 第50回

『身近にあるもの』

【この街学園 飯田 さん】

この随想を依頼された時、今の自分にどんなネタがあるかな?と色々思い浮かべてみました。趣味?過去の思い出?時事問題?

どれもこれも、書き始めたら字数が足りなそうだったり、やたら理屈っぽくなりそうだったり、あまりにも個人的かつマニアックで、サブカル色が強すぎたり…。

結局、やはりここは最近目にした気になるもので攻めてみようと思い至り、自分の身近な環境からネタをひねり出してみることになります。



私の勤めているこの街学園には、ほぼ手つかずのかぼちゃ畑があります（利用者さんが気にして近くで土をかき混ぜてくれたりしていますが）。この、ほぼ手つかずというのがミソで、実際こまめに手入れをしているというようなことでなく、そもそもそこを畑にしようと土地を調整したり、種や苗を植えたわけでもないものなのです。いつの間にかニョキニョキと蔓を伸ばし、花をつけ、実を实らせているのです。すごいですね。自然の恵みというか、「いつの間にか生えてる！」「いつの間にか実がなってる！」「食べられる！」これです。

もう一つ、やはり私の勤めているこの街学園の建物に、ツバメが巣を作って子を育てている様子をお伝えします。巣のある場所はさほど高いところではなく、実際背の高い人がちょっとジャンプすれば手が届いてしまいそうなところなのです。そんな場所なので、少し見上げると可愛い雛鳥がピーチクパーチクさえずる様子がしっかり観察できます。つがいのツバメと可愛い雛鳥、癒されますね。ツバメが人の住む環境の近くに巣を作るのは、野生の天敵から巣を守ることができるから、という説があります。もしそうなら、少なくとも野生のカラスや何かよりは、私たちのことを信頼してくれているのでしょうか。そう考えると、保護すべき野鳥だからとかは関係なく、見守って応援してあげたくなりますね。



勤務を終えて一息つこうと思う時、私はこのどちらか（あるいは両方）が気になって、様子を見に行くことがあります。今どんな感じかな？と。健気に育ち続けるかぼちゃも、懸命に巣作りをし雛を育てるツバメも、何と何かとても心に響く何かがあります。かぼちゃは、ただそこにあるもの（元からある土や、雨水等）だけで生を全うしようとしています。ツバメも、他には目もくれずひたむきに子育てに勤しみ、

雛の巣立ちのために全力を注いでいるのでしょうか。私たち人間の営みと比べてどうでしょうか。何か、そこから学ぶこと、共感できることがあるような気がします。

例えば自動車、皆さんお乗りになるかと思えます。遠距離まで私たちを運んでくれる、それだけで十分便利なものです。あるいは、携帯電話はどうでしょう。時も場所も選ばず相手と通話できる、それだけで十分便利なものです。しかし私たちはその先の便利さまで求めてしまう。

いいのかな？これ以上、いろいろ求めてしまっていていいのかな？どこかでツケは回ってこないかな？ふと、そんな気持ちになる時があります。それでも、今自分が暮らす社会から離れようとは考えませんし、「必要以上に便利な生活」は捨てられない。厭世的になったり、自虐的になるわけではないですが、このかぼちゃやツバメのようにただ純粹に自他の生と向き合う姿は、「見習いたいな」と感じることもあるのです。そんな自分を振り返りながら、今日もかぼちゃとツバメをぼんやりと眺めています。身近でこういう様子を見せてくれているのは、きっと意味があるからだろうと。

（次回は、諏訪市福祉課中条さんをお願いします）

■8月の日程（自立支援協議会、オアシス）

8月 3日（木）あそびのひろば

21日（月）いきいき元気館休館日 体育館の日

22日（火）水泳教室、相談支援部会

25日（金）地域生活支援部会

28日（月）発達障がいデイケア

29日（火）水泳教室、らっこの会